

257 体重別にみた予後不良児(CP, MR, 新生児死亡)の周産期における臨床的背景
—特に胎児仮死との関連性において—

大阪市立総合医療センター

(大阪市立母子センター)

松尾重樹, 竹林忠洋, 中本 収, 川端政實,

松本雅彦, 日高敦夫

〔目的〕新生児死亡並びにCP, MR発症と周産期リスク因子特に胎児仮死との関連性につき児体重別に検討し, 児予後に与える臨床的背景を明らかにせんとした。〔方法〕過去5年間に於いて本院にて出生した4377例のうち予後不良児(CP17例, MR19例, 新生児死亡17例)について体重別に1000g未満(I群)1000g以上1500g未満(II群)1500g以上2500g未満(III群)2500g以上(IV群)の4群にわけ, 児の臨床的背景主として胎児仮死との関連性につき検討を加えた。〔成績〕CP, MR, 新生児死亡の各体重別に分布する割合はI群17.6%, 21.0%, 58.8%, II群41.2%, 10.5%, 29.4%, III群35.3%, 36.8%, 0%, IV群5.9%, 31.6%, 11.8%であった。次に病態別に胎児仮死を伴った頻度はCPではI群29%, II群67%, III群50%, IV群100%, MRではI群0%, II群25%, III群14%, IV群17%に認め, 児死亡ではI群50%, II群40%, IV群50%に認められた。さらに, 胎児仮死発症より児娩出までの時間的経過と予後との関係を見ると, 3時間以上持続したものではCPの75%, MRの100%, 児死亡の89%に認められ, 心拍異常パターン別での検討ではType II及びLOVはCP, 児死亡例に, Severe VDはMR例に高頻度に認められた。一方, 仮死の有無にかかわらずCP例の大部分(17例中15例)においてPVLが認められた。〔結論〕胎児仮死の発症はCP, 新生児死亡例の約半数にみられ, 特にCPは児発育に伴い胎児仮死との関連性が高まる傾向が認められるが, 仮死発症の有無にかかわらずPVLと密接な相関性が認められた。一方MRでは比較的胎児仮死の発症頻度は低い傾向にあった。しかしいずれの病態も3時間以上の仮死持続がみられる際には発症しやすい傾向がみられた。

258 出生体重 2,500 g 未満 SFD 児の周産期因子に関する検討

北海道大

松本憲則, 岩田正道, 高橋伸浩, 木田 毅,

牧野田 知, 藤本征一郎

〔目的〕2,500 g 未満 SFD 児の周産期因子・新生児合併症を AFD 児と比較検討する。〔方法〕2,500g 未満児のうち, 妊娠8~12週に CRL で妊娠期間を補正しえたもの, もしくは Ballard 法により最終月経より算出した妊娠週数 ± 2 週以内と判定されたものを対象とした。出生体重によりI群: 1,500g 未満(SFD 13, AFD 60 例), II群: 1,500g 以上2,000g 未満(同22, 42 例), III群: 2,000g 以上(同37, 37 例)と群別し, SFD 児と AFD 児の相違を検討するために各種の周産期因子との関連ならびに新生児合併症の発現につき解析した。〔成績〕妊娠週数はI群 33.3 ± 2.9 vs 28.4 ± 2.2 (SFD vs AFD, Mean $\pm$ SD), II群 36.4 ± 1.6 vs 32.4 ± 1.6 , III群 38.7 ± 1.1 vs 35.7 ± 1.6 (いずれも $p < 0.001$)で, 平均出生体重(g)はI群1,120 vs 1,133, II群1,743 vs 1,729, III群2,315 vs 2,268 (いずれもNS)であった。母体年齢, 妊娠回数, 嗜好(タバコ, アルコール), 分娩様式, 胎位には各群ともに有意差を認めなかった。妊娠合併症では妊娠中毒症のみがI, II群で SFD に多かった(I群 46.2 vs 6.7%, II群 31.8 vs 4.8%, ともに $p < 0.01$)。PROM は AFD で高率であった(I群 7.7 vs 46.7%, II群 13.6 vs 47.6%, III群 8.1 vs 32.4%, いずれも $p < 0.05$)。CTG 上, 胎児仮死率はI群でのみ有意差を認めた(77.8 vs 13.3% , $p < 0.001$)。新生児合併症では AFD 群においてRDS, PDA, ROPなどが, またSFD 群で低血糖の発症が高率であったが, 低Ca血症, 多血症, 頭蓋内出血に差はなかった。〔結論〕同一体重群では, SFD児はAFD児に比し, 新生児期の予後が良好であることが強く示唆された。SFD児では低体重ほど中毒症の関与が大きく, 胎児仮死率も高かった。